

きかみち

令和6年度第 7号
校訓: 質実剛健

大島町立第二中学校校報
通巻 447 号 11月25日

教えずに、足場をかける

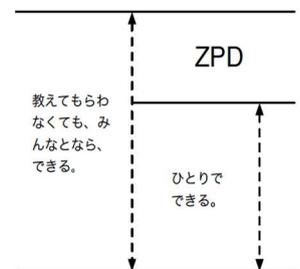
副校長 長津秀和

令和の日本型教育において重要視されていることは、「主体的な学び」です。その考えのベースとなるものに、「発達の最近接領域」という概念があります。主体的な学びを濃くしていくには、放任するのではなく、成長を促すための「足場かけ」が行われることが大切になります。

発達の最近接領域とは、ロシアの心理学者 レフ・ヴィゴツキー (L.S. Vygotsky, 1896-1934) が提唱した、他者 (=なかま) との関係において「あることができる (=わかる)」という行為の水準ないしは領域のことであり、ヴィゴツキーに詳しい柴田(2006)は、以下のように述べています。

我々には、他者の助けなしにわかる (=やれる) ことと、他者の助けがなくてはできないことがあることを知っている。学校教育の現場では、学習者である児童や生徒は、他者——この場合は先生——による教育にのみ学習を完成することができるという固定観念に我々は長いあいだ縛られてきた。あることがわかる、できるようになることを我々は発達や成長と呼んでいるが、我々ははたして、他者の助けのあるなしで「できる (=わかる)」ということを理解してよいものだろうか。

よく考えてみよう。他者の助けがなければできないことのなかには、みんな (=同じような学習者) と一緒にあればできるようなことがらがある。一般的に、みんなと一緒にできることのレパートリーは、ひとりでできることよりも広範囲におよぶ。このみんなと一緒にできることのレパートリーから、ひとりでできることの差を発達の最近接領域 (Zone of Proximal Development)、英語のアクロニムで ZPD と呼ぶ。その概念図は右図を参照のこと。



私たちは常に「伸びしろ (ZPD)」をもっており、それは教えてもらってできるようになるのではなく、主体的にできるようになることで埋まっていくのです。そのためには、仲間と一緒に協同学習を行い、そこで自分自身で気づくことが必要になります。ここに、教師や大人の存在意義があると言ってもいいでしょう。大人は黒子となり、子供があたかも自分でできたと思えるように足場をかけてやるのです。そうして仲間と共に取り組み、自分でできたという経験を積み重ねていくとどうでしょう。子供の自己効力感が高まり、学習意欲が沸き起こります。また、仲間を信頼する思いやりの心にもつながるでしょう。

このように考えると、協同学習は教育効果が高いことが分かりますが、これには時間がかかります。やり方を教えた方が早いのは当たり前です。ですが、子供の成長は自分の中にあるのですから、忍耐強く待ち、内側から湧き出るエネルギーをうまく放出させ、自分で問題解決できる力を身に付けさせてやるのが、これからの時代に必要な「新しい学力」と言えると私は思います。

<参考文献>

- ・柴田義松「ヴィゴツキー入門」2006. 寺子屋新書.

11月1日(金) 校内マラソン大会

雨で順延となった校内マラソン大会ですが、当日は快晴で絶好のマラソン日和となりました。男子は6km、女子は4kmと非常に長い距離を走るため、自分自身との戦いとなります。ですが、生徒はみなこれまで体育の授業や放課後を使ってたくさん練習した成果を存分に発揮してくれました。

保護者の方々がたくさんのお応援、本当にありがとうございました。

〈マラソンコース〉

男子6km：仲ノ原園地～万立手前～仲ノ原園地

女子4km：仲ノ原園地～赤禿手前～仲ノ原園地

〈成績〉

優勝 ***** (2年) 学年1位 23分54秒
 2位 ***** (2年) 学年2位 25分32秒
 3位 ***** (1年) 学年1位 26分42秒

優勝 ***** (1年) 学年1位 20分02秒
 2位 ***** (2年) 学年1位 20分03秒
 3位 ***** (2年) 学年2位 20分39秒



11月16日(土) 第42回 地域研究発表会

今年で42回目となる「地域研究発表会」が行われました。3年杉本実生弥さんを実行委員長とし、スローガン:「島を学び、つなげる未来へ」を掲げて、大島の過去や現在から未来へつなげていくために、半年間をかけて真剣に取り組んできました。どの発表も考えや提言が述べられており、ふるさと大島の未来を思う姿に、頼もしさを感じました。

保護者、地域の方には引率や取材等にご協力いただき、ありがとうございました。



～ 参観された方の感想 (アンケート) より ～

○スローガンの「つなげる」という言葉のように、42年分の思いが繋がった良い研究だと感じました。小学校で学んだことをきっかけにテーマを設定した班もあるようで、小中の学びのつながりも感じました。

○今回の発表のように、大島の様々な問題点やクリアしなければならない壁を、今後もずっと考察していけたら大島の未来も明るいですね。学年ごとに掘り下げ方や考察も深くなっていてよかったです。3年生の発表はさすがでした！来年の研究もさらによりよくつながっていくことを期待しています。

12月の行事予定

学校教育目標： のびやかで、あたたかい心
 深く考え、自ら学ぶ力
 健やかな身体とたくましい体力

日	曜	行事	給食	日	曜	行事	給食
1	日			17	火	講話朝礼	◎
2	月	生徒朝礼	◎	18	水	ALT 活動なし日	◎
3	火		◎	19	木		◎
4	水	ALT みんなが先生(6校時)	◎	20	金	SC	◎
5	木		◎	21	土		
6	金	SC	◎	22	日	大島町駅伝競走大会	
7	土			23	月		◎
8	日	伊豆大島人権を考える集い(13:30~)		24	火	専門委員会	◎
9	月	三者面談	◎	25	水	安全指導日 大掃除 終業式	×
10	火	連合音楽会(1,2年)	◎	26	木	冬季休業日始	
11	水	ALT 校内研修会	◎	27	金		
12	木	SC	◎	28	土		
13	金	避難訓練(初期消火訓練)	◎	29	日		
14	土	土曜授業(ビブリオバトル・地域清掃)	×	30	月		
15	日	英語スピーキングテスト予備日(3年)		31	火	~大晦日~	
16	月	振替休業日					

リサイクルウィーク

校内研修会 研究授業 12月11日(水)

研究テーマ

「粘り強く思考する生徒を育成する授業の工夫」

時程：5校時(13:15 ~ 14:05)

対象：第1学年 英語

*授業デザインや教材、課題設定、
 教員の発問等を工夫して課題解決
 に取り組み、生徒の主体性を高め



連合音楽会 12月10日(火)

- ・会場：開発総合センター 大集会室
- ・内容：ジブリメドレー 総編曲：中水樹良
 - ① カントリーロード
 - ② 風の通り道
 - ③ 海に見える街
 - ④ 君をのせて
 - ⑤ タタリ神
 - ⑥ やさしさに包まれたなら



*14時開演。1,2年生全員が参加します♪

◇ 土曜授業 12月14日(土) ◇

〈全校ビブリオバトル〉8:35~10:00頃

各学年の代表生徒が読んでおもしろいと思った本を紹介し、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする知的書評合戦です。読書活動の充実、推進の一環として国語科で取り組んでいます。

〈地域清掃〉10:20~12:10 (雨天：12月17日(火)5・6校時)

登下校で使用する道路周辺を中心に清掃を行います。学校行事や町行事での温かいご声援など、日頃からお世話になっている地域の方に感謝の気持ちを込めて取り組みます。

